

施策番号	1401		
施策名	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり		
概要	すべての人が個人として尊重されるよう市民意識の向上を図るとともに、障害のあるひとが積極的に社会参加できるよう、情報発信・相談支援の強化を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健福祉部	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する 主な分野別計画等	支えあうまち・京（みやこ）のほほえみプラン		

### 施策の評価

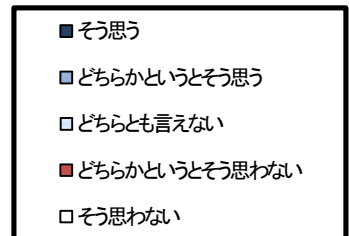
#### 1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 移動支援の利用時間数(時間)	-	-	42,980	41,421	44,700	92.7%	b	1.00
2 手話通訳等登録者数(人)	-	-	447	476	447	106.5%	a	1.00
3 地域福祉権利擁護事業契約件数(件)	-	-	406	483	406	119.0%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 障害への理解が進み、障害のあるひともないひと、認め合い、支え合っくらすまちになっている。	28 5.3%	137 25.8%	225 42.4%	97 18.3%	44 8.3%	531	c	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c



### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとに対する日常生活やコミュニケーションの支援などの取組は、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・障害のあるひとに対する情報・コミュニケーション支援や権利擁護施策への需要が増加し、また、地域福祉権利擁護事業の利用者も年々増加してきている状況にある中、客観評価ではa評価となった。 ・一方、市民生活実感調査はc評価とかい離があり、すべての市民が障害のある人に対する正しい知識と認識を深められるよう、市民意識の向上を図っていく必要がある。						年度	-

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	障害者スポーツ振興事業	60,775	57,786	良い	保健福祉局
2	障害者社会参加促進事業	73,626	69,019	良い	保健福祉局
3	障害者権利擁護推進事業	5,846	8,406	悪い	保健福祉局
4	障害者相談員設置	13,740	14,658	良い	保健福祉局
5	知的障害者福祉研修大会補助	2,342	2,342	良い	保健福祉局
6	知的障害者社会活動総合推進事業	4,973	4,973	悪い	保健福祉局
7	市バス・地下鉄福祉乗車証交付事業	1,625,919	1,581,439	-	保健福祉局
8	障害者情報バリアフリー化支援事業	2,189	2,445	普通	保健福祉局
9	身体障害者デイサービスセンター運営補助	75,067	75,068	良い	保健福祉局
10	山科・醍醐地域等福祉乗車証交付事業	178,894	182,942	-	保健福祉局
11	こころのふれあい交流サロン	40,000	40,000	-	保健福祉局
12	ほほえみ広場	0	10,906	-	保健福祉局
13	こころの健康増進センター管理運営[センター事業]	47,985	48,437	良い	保健福祉局
14	精神保健福祉ボランティア連絡協議会	4,225	4,245	普通	保健福祉局
15	精神障害者保健福祉対策[手帳の交付]	55,156	55,309	かなり良い	保健福祉局
16	自立支援医療費(精神通院)[事務部分]	111,177	113,524	かなり良い	保健福祉局
17	精神医療対策	74,072	92,334	かなり良い	保健福祉局
18	京都市精神医療審査会	45,202	44,883	かなり良い	保健福祉局
19	命の大切さと生きる勇気・力を取り戻すための支援の充実	11,820	12,720	普通	保健福祉局
20	障害者スポーツセンター	208,240	206,000	かなり良い	保健福祉局

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・障害のある人に対する福祉サービスや社会参加のための環境整備は着実に拡充している状況にあるが、市民や障害者団体等と協働し、引き続き障害や障害のあるひとに対する正しい理解と認識を深める取組を進めていく。

施策名	1401	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり									
指標名	移動支援の利用時間数（時間）										
担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161								
<b>1 指標の説明</b>											
屋外での移動が困難な障害のある方を対象に、社会生活及び社会参加を目的として実施している移動支援事業（ガイドヘルパーの派遣）のひと月当たりの利用時間数											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
障害がある方の外出の機会を促進し、社会参加しやすい環境づくりの進捗状況を示す指標			算出方法：年間延べ利用時間数÷12月 出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>											
数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
42,980	41,421	1,559時間減	44,700	平成21年度現況値（42,980）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率（約4%）を乗じて算出	92.7%						
数値	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		当該指標については障害者の外出機会の促進状況を表すものであることから、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>b</td> </tr> </table>				23	-	-	b
		23									
-	-	b									

指標名	手話通訳等登録者数（人）				
担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161		
**1 指標の説明**					
手話通訳者・要約筆記者の派遣登録者及び点訳・音訳奉仕員の登録者数					
**2 指標の意味**			**3 算出方法・出典等**		
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた情報・コミュニケーション支援の進捗状況を示す指標			算出方法：各登録者全数調査 出典：事業担当課調べ		
**4 数値**					

数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
447	476	29人増	447	過去最高値	106.5%	

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

| **5 評価基準** | | **6 基準説明** | | **7 評価結果** | |
| 最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の中間）値との間 c：上中間値と平均値の間 d：平均値と下中間値（平均値と最低値の間） e：下中間値以下 | | 当該指標については毎年登録人員に増減があるため、過去4年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：447人（平成21年度） 平均値：429人 最低値：400人（平成18年度） | | |   |   |    | |---|---|----| |   |   | 23 | | - | - | a  | | |

施策名	1401	お互いに認め合い支え合っくらすまちづくり									
指標名	地域福祉権利擁護事業契約件数(件)										
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175								
<b>1 指標の説明</b>											
認知症高齢者、知的障害者や精神障害のあるひとなど、判断力が不十分なために福祉サービスを十分に利用できないひとなどを援助する地域福祉権利擁護事業の契約件数											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
判断力が不十分な方に対する地域福祉サービスの充実度を示す指標			算出方法：助成団体全数調査 出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度					
数値	406	483	77件増	406	過去最高値	119.0%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の間）との間 c：上中間地と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下		当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：406件（平成21年度） 平均値：314件 最低値：221件（平成17年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>				23	-	-	a
		23									
-	-	a									